

わがまちまごめ

馬込管内世帯人口数 (令和6年10月1日時点)
・世帯数 31,805
・人口(男) 28,095
・人口(女) 29,178
・人口(計) 57,273

発行 地域力推進馬込地区委員会
事務局 馬込 特別出張所
〒143-0027 大田区中馬込3-25-5
☎(3774)3301(代)
ホームページアドレス(大田区役所大森地域)
<http://www.city.ota.tokyo.jp/omori/index.html>



交通事故は

いやだ!



—交通事故に遭わないために—

年末は交通事故が増える時期のよう
です。皆が忙しがるからでしょうか。
最近では酒酔い運転や居眠りなど、信じ
られないような原因での重大な事故も
目立ちます。中でも、子どもがまきこ
まれた事故は特に痛ましく、なんとか
して無くしたいものです。

ここでは、私たちの毎日のこと、自
転車で出かけた時、道を歩いたりする
時に注意したいことを、よく馬込で見
かける事例から、まとめてみました。

道を横断する時

歩行者が横断歩道を渡っていたにも
関わらず、車にはねられてしまう事
故が起きています。明らかに運転者の
不注意によるものですが、事故に遭っ
てからではどうにもなりません。

まずは、信号の変わり目に飛び出さ
ないこと。なんとか通り抜けてしまお
うと、スピードを上げて来る車があり
ます。小さなお子さんにはぜひ伝えて
おいてください。

右折して来る車には要注意! 運
転者は対向車ばかりに気をとられ、早く
曲がってしまおうと、その先の歩行者
を見もせずに突っ込んで来ることでよ
くあります。
本来は安全に渡れるはずの横断歩道
ですが、どんな運転の車が来るかわか
りません。車道に出るときには、「防衛
運転」ならぬ「防衛歩行」で、自分の身
を守りましょう。

自転車に乗る時

安全のためにヘルメットを
自転車にもヘルメット着用が努力義
務となりました。バイクと同様、二輪車
には、転倒時の頭部保護のために必要
です。ぜひ前向きに取り組みましょう。

走り出す時は注意して

電動自転車主流になって、全体に
自転車のスピードが上がりました。特
に発進時は、加速性能がよいだけに飛
び出してしまう事故にならないよう、注意
が必要です。大半の自転車には、バッ
クミラーがついていません(あったほ
うがよいと思います)。走り出す時
は後ろから車やバイク、歩行者などが
来ているか、細心の注意をもって確
認しましょう。

残念ながらほとんどの自転車が後方
確認をしないまま発進し、後方から来
る車の運転者に安全は任せきりです。
自転車ハンドルの右側にバックミラー

がついていると、自分で後方確認がし
やすくなるので、安全度が高まると思
われます。

他人任せにせず、運転時の安全は自
分自身で守る意識を高めましょう。小
さな子どもを乗せているときなど、な
おさらです。

一時停止と安全確認を忘れずに

狭い道から広い大きな道に出る時に
は、万全の注意を払いましょう。こ
のような場所(交差点)ではたいてい
狭い道の側に「一時停止」の標識があ
り、一度止まって安全を確認してから
走り出すように規制されているはずで
す。馬込は坂道も多く、危険な交差点
もあちこちにありますが、ほとんどの
自転車が守らず、安全確認もしないで
曲がったり、横断したりしています。
二輪車の性格上、止まると不安定にな
るので、再び走り出すのが面倒になる
気持ちもわかりますが、大変に危険で
す。あたりまえのことですが、信号の
ある交差点では、必ず信号を守りま
しょう。

並んで走ると危ないよ!

二人の方が、お話ししながら自転車
を並べて走っているのをよく見かけま
す。後ろを走る車からすると、追い越
そうにも道いっぱい余裕がなく、の
んびり走る自転車に付き合っただけの
口走り。しかもお二人とも話に夢中
で周囲のことなど気にしていません。前
に現れた子どもにもぶつかりそうにな
って体勢を崩しながらの急停車! 後ろ
の車は追突しそう!

暗くなったら点灯を

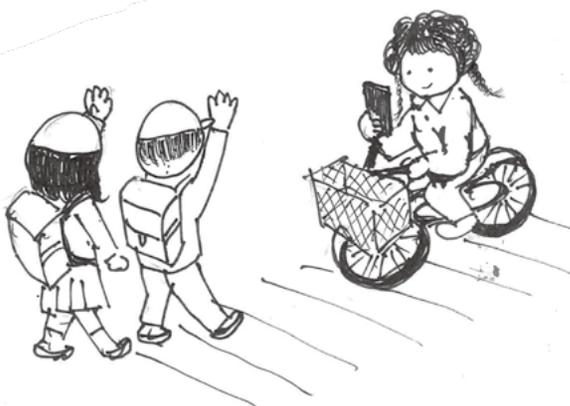
夜間、無灯火で走る自転車を時々見
かけます。乗っている人は、街の明か
りで走れると思うのでしょうか、他の
車や歩行者からは見え、大変危険で

す。夜間は点灯を忘れずに!

自転車は弱い乗り物です。車と衝突
したときには、乗り手の命にかかわる
事故になります。「自分の安全は自分
で守る」ことを、いつも意識しましょ
う。

走りスマホは厳禁です

自転車に乗りながらのスマホは絶対
にやめましょう。スマホ操作で注意不
足となるまま片手運転! 危険です。
最近では自転車と歩行者の事故も増え、
ぶつけられた歩行者が死亡したことも
ありました。



自転車は法律(道路交通法)では軽
車両で、「車のなかま」です。原則、車
道の左側を通行し、歩道を走るの
は例外(「歩道走行可」の標識がある場合な
ど)で、「歩行者優先」なのはもちろ
んです。

車によって便利になるとともに、私
たちの身の回りには危険なことも増え
てきました。今まで比較的、交通事故
の少なかった馬込でも、油断のできな
い状況です。「私は車を運転しないか
ら」などと言わずに、自分が交通事故
に遭わないためにはどうするか、もう
一度、考えてみませんか。

地道な実践に 感謝状

中馬込宮ノ下町会



9月9日、「救急の日」に宮ノ下町会が長年、取り組んでいる防災意識の向上、救急救命活動に関する実践に対して、感謝状の授与式がありました。

当日は大森消防署渡邊茂雄署長がお見えになり、感謝状を授与されました。

宮ノ下町会では数年前から年一回ですが、救急救命講座を開設し、AEDの使い方や緊急時の蘇生法などを学習してきました。

講習は丸一日かけて行われ、毎回の参加者は約20名ほどです。受講者も意欲的で幅広い年齢層が受講されています。講師には消防署員の方があたり、人形を使った蘇生法や、AEDの実体験を参加者全員が経験するなど中身の濃い講習を続けてきました。

講習修了時には、3年ごとに更新が義務付けられていますが「上級救命技能認定証」が渡されます。この免許を取得された方は延べ100名を超えています。

また、会館前には、常にだれでも利用できるようにAEDが設置さ

れ、救命救助の必要性を印象付けています。



そのほか当町会の防火部では、緊急時に必要な水の確保のため井戸のある家庭から延長ホースをつなぎ合わせる、防災施設のある広場への給水の訓練を実施し、生活用水の確保に備えています。



あっぱれ馬込八幡神社での はしご乗り！

馬込八幡神社で初めてののはしご乗りが披露されました。

ことしの1月8日、午前11時30分から、大森鳶組合の皆さんが神前にお参りののち、社前に梯子が持ち込まれ、素晴らしい演技が20分ほど披露されました。技が披露されること

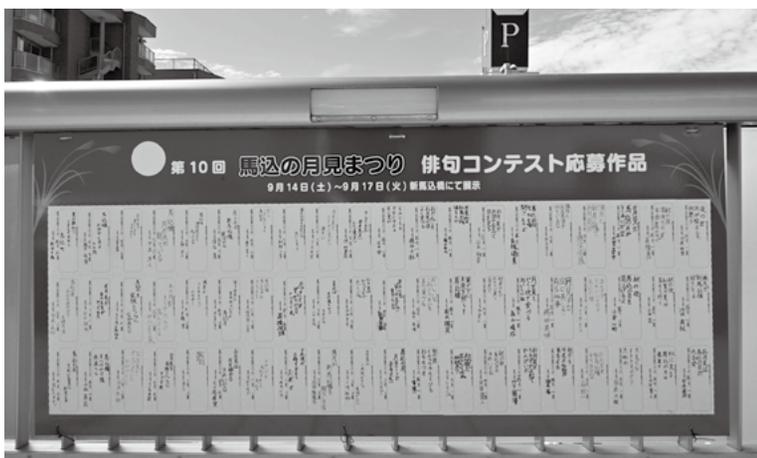
に拍手喝さいでした。初詣にきた皆さんは目の前で練り広げられる本物のはしご乗りの奉納を見て大感激。こどもたちも思わぬ光景に目を丸くしていました。来年のお正月にも行われますが、本記事編集時点で日程は決まっていないとのことです。



馬込情報

◎馬込月見まつり

令和6年9月14日～9月17日の4日間、新馬込橋にて馬込小、馬込第三小の5・6年生の俳句がパネル展示されました。



◎9/16敬老の日の報告

馬込特別出張所管内の88歳(米寿)および100歳の方に、大田区、大田区社会福祉協議会からお祝いがありました。88歳の方、男性78名、女性177名でした。100歳の方、男性2名、女性20名の、合わせて22名の方でした。なお、大田区最高齢110歳の方は雪谷地区でした。
(令和6年8月15日現在)

◎10/9地域力推進委員会施設見学会

各町会から選出された地域力推進委員の方々が、大田区防災機材センターなどの施設見学に参加しました。

◎龍子記念館 (TEL 3772・0680)

空調設備の入替工事に伴い、8月13日から12月上旬まで休館します。再開後は、川端龍子+高橋龍太郎コレクションコラボレーション企画展「ファンタジーの力」を令和6年12月7日(土)から令和7年3月2日(日)に開催予定です。

◎熊谷恒子記念館 (TEL 3773・0123)

●「かなの美展」令和6年12月21日(土)～令和7年4月6日(日) 予定
◎馬込図書館 (TEL 3775・5401)
●「馬込文士村展示」12～1月は山本有三、2～3月は佐多稲子。
●「薬って何だろう?」親子健康フェア」12月14日(土) 10時半

◎郷土博物館 (TEL 3777・1070)

●企画展「博物館まなびの広場展」三団体の活動と学習の成果」令和7年1月21日～3月23日
●特集展示「弓矢と大田区の遺跡」
●特集展示「文化財写真パネル展」

令和6年10月8日～1月10日



川柳

腹が立つ 支払い機からの「お大事に」
コロナ過ぎ 無言のフスクが 道に落ち
また一つ 街から消えた 専門店
舐めるなよ 切手料金 また値上げ 龍哲
風の音 強盗来たかと 身構える
万歩計 私の歩幅は ダックスフント リコ

編集後記

令和6年も残り少なくなりました。今年のニュースで忘れられないのは元日早々の地震と9月の豪雨で度重なる甚大な被害を被った能登地方のことと後を絶たない痛ましい交通事故の事です。
自然災害はともかく、交通事故は人の心がけ次第で防ぐことができます。

今号は身近な交通事故を防ぐポイントを特集しました。あたりまえのことばかりですが、残念ながら実行されていないことが多いのが現状です。自分自身と家族を交通事故から守るため、今一度点検をして、健やかによい新年を迎えましょう。